

盛岡市教育振興運動

第十二次五か年計画

コミュニケーション・スクールと連動した教育振興運動

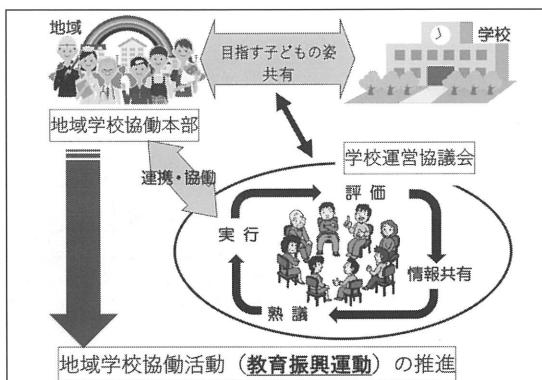
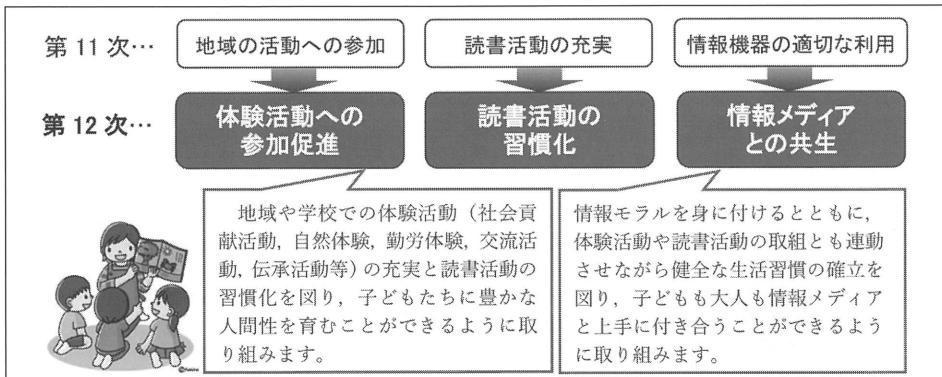
「たくましく生きる盛岡の子」を育もう

盛岡市教育振興運動 「第十一・二次五か年計画」

(左図は第十二次五か年計画の「運動の重点」)

昨年度までの第十一・二次計画の取組では、地域での体験活動を通した子どもたちの自己肯定感の醸成、ボランティアとの連携による読書活動の充実という成果が得られました。一方、情報メディアの利用・普及はさらに加速しており、子どもを取り巻く社会環境の急激な変化への適応について継続して取り組むべき課題であると捉えています。

これらの成果と課題から、第十二次五か年計画案を策定し、今年度の総会において承認されました。(本頁下部掲載)



第十二次五か年計画では、コミュニケーション・スクールの導入を推進します。

地域学校協働本部は、学校に「学校運営協議会」を設置し、地域と学校が一体となって学校運営のことを考え、特色ある学校づくりを進める体制です。教育振興協議会を母体として「学校運営協議会」や「地域学校協働本部」を設置することにより、熟議等を通して、地域総ぐるみで子どもの成長を支える機運を高め、実際的な取組を進めていきます。

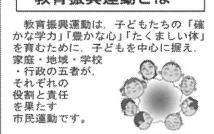
第十二次五か年計画では、コミュニケーション・スクールの導入を推進します。

盛岡市教育振興運動第12次5か年計画（令和3年度～7年度）

運動の目標

地域総ぐるみで「たくましく生きる盛岡の子」を育もう

教育振興運動とは…



教育振興運動は、子どもたちの「確かな学力」「豊かな心」「たくましい体」を育むため、子どもを中心に関え、家庭・地域・学校・行政の五者が、それぞれの役割と責任を果たす市民運動です。

運動の重点

◎体験活動への参加促進

【健全育成】

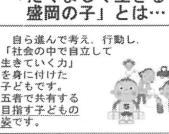
◎読書活動の習慣化

【学力向上】

◎情報メディアとの共生

【健康安全】

「たくましく生きる盛岡の子」とは…



自ら進んで考え、行動し、社会の中で自立して生きていく力を持った子どもたちです。五者が共有する目標す子どもの姿です。

五者の取組

地域総ぐるみ

子ども

家族の一員としての役割

地域の一員としての自覚

○地域の活動の充実を図り、参加を促す。

- 多様な体験ができるよう、地域活動や子ども会活動を充実を図る。
(奉仕活動、自然体験、防災・防犯訓練等)
- 行事や活動の中で、子どもの活躍の場を作る。

○学習支援や環境整備などの学校支援を行う。

- 先人教育やキリスト教教育に関わる活動支援や外部講師での協力を図る。
- 図書ボランティアや環境整備活動等に参加する。
- 挨拶運動や登校校等の見守り活動を展開する。

○地域総ぐるみでの運動を推進する。

- 子どもたちの社会参加活動を推進する。(リーダー研修会等)
- 子どもも会活動を支援する少年指導員を養成する。
- 教育振興運動の実践交流会の充実を図る。
(地区別集会や実践発表大会の開催、実践事例集の発行)
- 第12次5か年計画実施の成果と課題を把握し、検証する。
- コミュニティ・スクールの導入を推進する。
- 「盛岡市学校運営協議会規則」を定め、適切な運用を図る。
- 学校と地域の連携をサポートする人材を育成する。

家庭

学校

地域

行政

友達と共に学ぶ意欲

教諭運動に対する理解

「地域総ぐるみ」による運動の充実

コミュニケーション・スクールとは…



コミュニケーション・スクールとは、学校運営協議会を設置した学校のことです。学校運営協議会は、学校運営に関することうについて広い範囲で議論し、学校運営に貢献するための組織です。これは、地域社会との連携的につながり、学校が地域と一緒につながる特徴ある学校づくりを進める体制です。

「地域総ぐるみ」に向けて

～連携・協働のしくみを見直そう～

- ①学校にある連携・協働の組織や目的、活動を洗い出してみましょう。
- ②「目指す子どもの姿」の育成に必要な活動を整理しましょう。

～新しい連携・協働のしくみを作ろう～

- ①整理した活動を学校区の各組織で役割分担をしましょう。
- ②各組織をまとめる本部「学校運営協議会」を学校区に立ち上げましょう。(コミュニケーション・スクール)

～新しいしくみで運動を推進しよう～

- ①コミュニケーション・スクールと連携し、「目指す子どもの姿」の実現!に向けた運動を推進しましょう。
- ②取組の成果と課題を共有しながら、運動の改善を図りましょう。